

走行用ブレーキフルードの定期交換について

ブレーキフルードは、時間の経過とともに空気中の水分を徐々に吸収し沸点が下がります。その結果、ベーパーロック現象を起こしやすくなります。ブレーキフルードは、必ず定期的に交換して下さい。

【ベーパーロック現象】

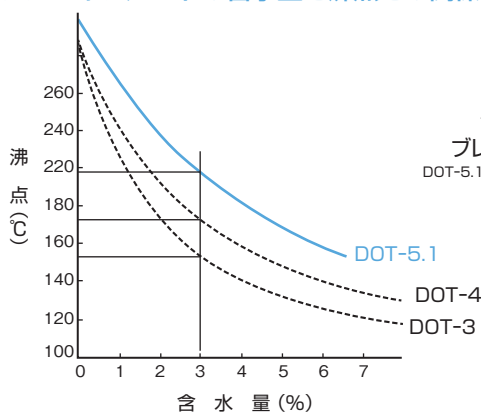
ブレーキシステムが高温になった場合、ブレーキフルードが沸騰してシリンダや配管内に気泡を生じブレーキが正常に作用しなくなった状態をベーパーロックと呼ぶ。これは長時間連続走行や長坂路の下りで、繰り返しブレーキを多用した場合に発生しやすい。

ブレーキフルードの交換……………12ヶ月毎

【ブレーキフルードの含水量と沸点との関係】

DOT-3、DOT-4、DOT-5.1のブレーキフルードの含水量と沸点の関係を下図に示します。同じ含水量でも高性能ブレーキフルード（タダノ純正ブレーキフルードDOT-5.1）の方が沸点が高くなっています。一般にブレーキフルードは1年間使用すると、平均含水量は約3%以上になります。使用条件や環境が過酷であると1年間で3%以上の含水量となる場合もあり、3%水分を含んだブレーキフルードは、著しく沸点が低下してベーパーロック現象が発生しやすい状況になります。

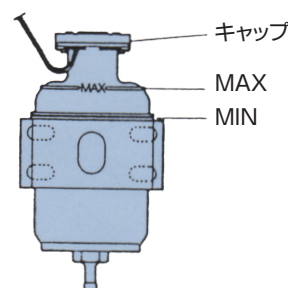
ブレーキフルードの含水量と沸点との関係



タダノ純正
ブレーキフルード
DOT-5.1 NON-SILICONE BASE



ブレーキのリザーバタンク



【交換時の注意】

- 1 ブレーキフルードは「タダノ純正ブレーキフルード」を使用下さい。銘柄の異なるブレーキフルードを混用するとブレーキシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 2 ブレーキのリザーバタンク内の液面が低下しているとき、ブレーキシステムに液漏れがないか点検して下さい。液漏れがなく液面が低下しているときは、ディスクパッドの摩耗が考えられますのでパッドの摩耗点検を併せておこなってください。

対象型式

ディスクブレーキ装着のラフテレーンクレーン ※ブレーキフルードの交換は弊社指定サービス工場にて承っております。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成